

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和62年3月24日

第52報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	220	○	◎
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	160		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	360	◎	
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	60		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas erosa</i>	160		○
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	160		○
(他) その他の植物プランクトン	40		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	220	18.6	45.5
(珪) 珪藻綱	600	50.8	14.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	320	27.1	40.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	0	0.0	0.0
(他) その他のプランクトン	40	3.4	0.0
総細胞数	1180	総体積	1.35E+06
種類数	8	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位: %)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

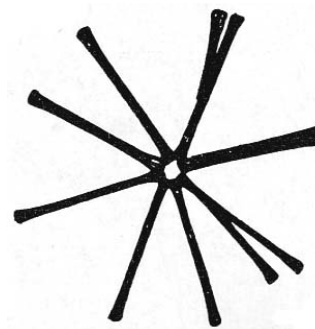
顕微鏡的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Asterionella formosa</i>	360

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
黄色鞭毛藻綱	<i>Dinobryon bavaricum</i>	220

植物プランクトン第1優占種



Asterionella formosa
(ホシガタケイソウ)
珪藻綱

4~32個の細胞が端で接着し、ホシガタの群体を作る。細胞の殻面を見ると(通常は殻環面が見えている)両端が丸くなった長い棒形をしている。琵琶湖では以前から多く見られる種類である。

植物プランクトン第2優占種



Dinobryon bavaricum
(ディノブリオン)
黄色鞭毛藻類

各細胞は細長く、サヤの中に入っており長短2本の鞭毛を有し、木の枝のような群体を形成する。群体は回転しながら活発に泳ぎ回る。